

監査報告書

平成30年 6 月22日

日本赤十字社
社 長 近衛 忠輝 様

日本赤十字社
監 事 荻田 伍
監 事 上島 重二
監 事 庄山 悦彦

私たち監事は、日本赤十字社定款第23条第4項の規定に基づき、平成29年度における日本赤十字社の業務を監査したので、その結果について次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 平成29年度の業務については、常任理事会等に出席して役員等から説明や報告を受けると共に、各支部の監査委員が行なう監査の結果について各監査委員からその報告を求めました。
- (2) 平成29年度一般会計、医療施設特別会計、血液事業特別会計、社会福祉施設特別会計、退職給与資金特別会計、退職年金資金特別会計、損害填補資金特別会計の各決算のうち、本社に所属する会計については監査法人に委託して実地検証を行い、また、支部に所属する会計については各支部の監査委員が監査を実施し、その報告を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書は、日本赤十字社の業務の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 平成29年度の収支決算書及び財務諸表は、日本赤十字社会計規則、その他諸規則に準拠し、適正に処理されていることを認めます。

3 監事の意見

別紙「平成29年度監事意見」のとおり

平成29年度監事意見

人間のいのちと健康、尊厳を守るという使命を実現していくため、日本赤十字社には、日本赤十字社の総合力を生かした柔軟な事業展開が求められています。

自然災害や人道問題への対応を迫られる場面が増加する状況を踏まえ、国内にあっては災害対応能力強化のための体制整備、国際的には緊急即応体制の拡充に引続き取り組むとともに、赤十字運動への参加と協力を社会に広げていくための一層の努力を期待します。

医療事業につきましては、安心・安全な医療提供体制や災害に強い病院づくりを含む地域における医療提供体制の充実に引続き取り組むとともに、大変に厳しい経営状況が続いていることを踏まえ、グループ経営資源の有効活用も図りながら、早期に経営の健全化が実現できるようなお一層の努力を期待します。

血液事業につきましては、献血者の安定的確保と血液製剤の安全性向上に引続き取り組むとともに、事業改善の推進及び健全な財政の継続に向けて一層の努力を期待します。

社会福祉事業につきましては、福祉サービスの質の向上と安定した施設運営に引続き取り組むとともに、地域包括ケアシステムへの対応に一層の努力を期待します。